

平成26年 2月17日

市長記者会見資料

川崎市・公益財団法人川崎市産業振興財団
株式会社ミス
日産自動車株式会社

川崎市知的財産交流会から生まれた成果 日産自動車の特許技術を活用してミスが新製品を開発

川崎市では、公益財団法人川崎市産業振興財団と連携し、大企業の開放特許等の知的財産を中小企業に移転し、中小企業の新製品開発等を支援する「川崎市知的財産交流会」を、平成19年度より実施しており、これまで16件のマッチング成果が生まれています。

このたび株式会社ミス[代表取締役 酒井高雄、川崎市高津区]が、日産自動車株式会社[社長兼最高経営責任者 (CEO) Carlos Ghosn (カルロス ゴーン)]が保有する特許技術を活用し、『部品定数供給装置』の製品化に成功しました。

なお、日産自動車の特許を活用した市内中小企業の製品開発は初めてとなります。

■ 技術概要

自動車等の生産ラインにおいて、ボルトやナットを必要な時に必要な数だけ自動的に作業者に供給する装置。ボルトの数を任意に変更することも可能で、作業者のボルトの計数の手間を省き、作業の効率化とボルトの締め忘れを防止。磁石を埋め込んだ回転盤にボルトを吸着させて、正確な数を供給するシンプルな構造により、省スペース化と低価格化を実現。



■ 製品化に至るまでの経過

平成25年7月に開催した川崎市知的財産交流会にミスが初めて参加。川崎市産業振興財団の知的財産コーディネータが間に入って行った日産自動車とのマッチング支援により、技術情報の提供を受け、同年12月に日産自動車との間で「部品定数供給装置」に関する技術(特許出願番号:特願2013-132176)の実施許諾契約を締結し、試作開発を開始。平成26年1月に製品が完成しました。

■ 技術開発の取組内容

ミスでは、日産自動車が開発してきた技術の特許を基にして、独自に装置の試作と改良を重ねています。例えば、市販するために装置全体の簡素化によるコスト低減を実現しつつ、同時に保護カバーを設置し商品性を向上させています。更に複数の装置を一箇所で制御できる外部通信式のコントローラを新たに設け、操作性を高めました。

■ 今後の計画

今年の4月から、ミス初の自社製品として装置販売を開始します。1台あたりの販売価格は28万円(税別)を予定しており、日産自動車を始めとする自動車メーカーや、トラック・バス、建築機械、農業機械等の比較的大型の工業製品メーカーを中心に5年間で1000台の販売を目標に営業活動を進めていく計画です。

■ 企業概要 ※別紙参照(ミス、日産自動車)

川崎市経済労働局 産業政策部 企画課 小沢、木村
公益財団法人川崎市産業振興財団 産業支援部 櫻井、酒井
株式会社ミス 酒井
日産自動車株式会社 グローバルコミュニケーション本部

電話 044 (200) 2360
電話 044 (548) 4112
電話 044 (813) 7530
電話 045 (523) 5521(企業)/
5553(商品)/5520(IR)

■株式会社マイス

所在地 : 川崎市高津区宇奈根 758
代表者 : 代表取締役 酒井高雄 (さかい たかお)
事業内容 : 自動組立機・検査装置等の開発・設計・製造・組立など
資本金 : 2,000 万円
従業員数 : 3 名

■日産自動車株式会社

本社所在地 : 横浜市西区高島一丁目 1 番 1 号
代表者 : 社長兼最高経営責任者 (CEO) Carlos Ghosn (カルロス ゴーン)
事業内容 : 自動車、船舶の製造、販売および関連事業
資本金 : 6,058 億円 (2013 年 6 月末現在)
従業員数 : 単独 : 23,605 名 連結 : 160,530 名 (2013 年 6 月末現在)

<日産自動車の技術ライセンスビジネスについて>

日産自動車は、自社で開発した特許技術やノウハウなどを自社利用のみに留まらず、多くの分野で利用促進する取り組みを通し、技術の発展に寄与する活動を進めています。

これまでの実績では、日産車に採用している、細かな擦り傷が時間の経過により復元し、綺麗な塗装面を長く保つことができるという優れた塗装技術「スクラッチシールド®」や、高級車に採用している人工皮革「ソフィレス®」などをライセンス供与しており、他企業にて商品化、販売されています。

今回の「部品定数供給技術」のライセンス供与もこの活動の一環であり、今後も地域に根差した元気なものづくり中小企業を技術面からサポートすることを通し、より豊かな地域社会の発展に寄与していきたいと考えています。

部品定数供給装置

MiNK

(Mi…Mitsubishi, N…NISSAN, K…Kawasaki City)



供給ワーク(例)

用途

ボルトやネジ等を必要な時に必要な数だけ作業者に供給する装置です。

特長

部品の供給数量を任意に変更することが可能で、作業者の計数手間を省き、作業の効率化と締め忘れなどを防止します。

磁石を埋め込んだ回転プレートにより、ワーク同士のカラミをほくしながら1個ずつ確実にカウントし、指定数をシュートへ供給します。

今まで難しかったM8～M12のボルトにも対応します。

便利

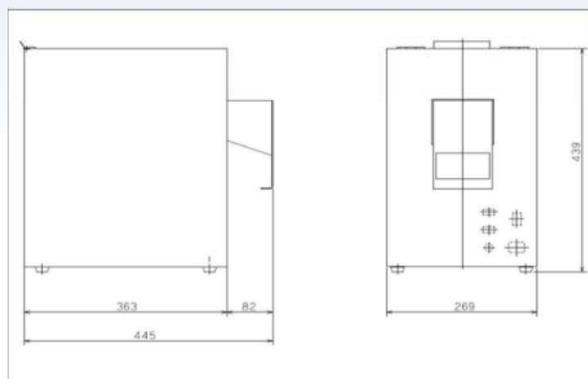
- ◆ 部品供給回数が少なく済む大容量ホッパー
- ◆ 作業者が計数後のワークを片手でも取れるシャッター式を採用
- ◆ 外部通信式コントローラーにより、任意の数量、供給パターン等様々な制御が可能
(複数台ご使用の際でもこのコントローラ1つあれば共用可)

安全

- ◆ 保護カバーにより万一の事故を防ぎます

低コスト

- ◆ シンプル設計により低コスト化を実現
- ◆ 希望販売価格 ¥280,000(税別)



電源 AC100V~AC240V

重量 約12 kg

◇ 対応ワークについてはお問い合わせ下さい。

お問い合わせはコチラ

製造元

株式会社 マイス

連絡先

〒213-0031
神奈川県川崎市高津区宇奈根758
TEL 044-813-7530
FAX 044-813-7531

<http://www.mice1991.co.jp>





2014年2月17日

日産自動車、生産技術のライセンスを川崎市、及び、堺市の企業へ供与

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区 社長:カルロス ゴーン)は、「部品定数供給技術」の特許とノウハウのライセンスを、神奈川県川崎市の株式会社ミス、及び、大阪府堺市の株式会社テクノアオヤマへそれぞれ供与すると発表しました。

「部品定数供給技術」とは、工場での生産ラインにおいて、生産車両ごとに必要数の異なるボルトやナットの必要数量を自動で正確に作業員へ供給するものです。

日産はかねてより工場での改善活動に取り組んでおりますが、この「部品定数供給技術」は作業改善活動の一環として開発したものです。工場では従来、作業員が箱の中に大量数入っているボルトやナットを必要数だけ取るという作業を行っていました。混流生産ラインである日産の工場では、熟練した作業員であってもこの作業は、困難を伴っていました。

「部品定数供給技術」の活用は、ボルトやナットの計数時間の削減のみならず、数量間違えによる閉め忘れの防止に繋がるなど、作業効率、品質の向上に寄与します。

日産は、同社で開発した技術やノウハウなどを社内利用のみに留まらず、社外で広く利用促進する取り組みを通し、技術の発展に寄与する活動を進めています。今回は、2013年7月に川崎市主催の知的財産交流会*¹において本技術を紹介したことにより、ミスへのライセンス供与に至りました。また同様に、2013年10月に堺市主催の2013知財ビジネスマッチングマート in 堺*²においての紹介が、テクノアオヤマへのライセンス供与に結び付けました。

ミスとテクノアオヤマは、今回の「部品定数供給技術」のライセンス供与により、本技術を商品化し、モノづくりを行う様々な企業へ幅広く販売することが可能となります。なお、ミスは本技術の低騒音、低振動、且つ大容量の部品補充スペースを確保しながらも省スペース設計を実現した製品を4月1日より発売する予定です。

日産は、今後も地域に根差した元気なものづくり中小企業を技術面からサポートすることを通し、より豊かな地域社会の発展に寄与していきたいと考えています。

* 1: 知的財産交流会は、川崎市が主催する大企業の技術を川崎市の中小企業にライセンスを行う取り組み

* 2: 2013知財ビジネスマッチングマート in 堺は、近畿経済産業局・堺市が主催する大企業の技術を堺市の中小企業にライセンスを行う取り組み

<関連 URL>

日産のライセンスビジネスについて

<http://www.nissan-global.com/JP/LICENSE/>

以上

お問い合わせ先:

日産自動車株式会社 グローバルコミュニケーション本部

Tel:045-523-5521 (企業)/5553(商品)/5520(IR)

www.nissan-newsroom.com/JP/(プレス情報)

www.nissan-global.com/JP/IR/(IR情報)

読者からのお問い合わせ・ご相談は「お客さま相談室」
0120-315-232(携帯・PHS対応) 9:00-17:00
お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上のために記録し活用させていただきます。

川崎市知的財産交流会について(実績資料)

1 概要

- ・大企業の特許を市内の中小企業へ移転し、中小企業の新製品開発をサポートする取組み
- ・2007年に策定した知的財産戦略の一環で、市内産業の活性化、国際競争力強化を図ることが目的
- ・川崎市と川崎市産業振興財団が一体となって、マッチングから製品化、販路開拓まで一貫支援
- ・2007年に全国に先駆けてモデル事業としてスタート、2008年からは重点事業として実施
- ・これまで参加した大企業は、富士通、東芝、日立製作所、NEC、味の素、パイオニア、日産自動車
- ・ミツトヨ、出光興産、富士通セミコンダクター、NTT、日本ハム、NHKもシーズ提供開始
- ・これまでの成約実績は17件、うち9件が製品化



2 開催実績 (※平成26年 1月現在)

- ・交流会開催回数: 31回
- ・参加数: 中小企業: 延723社、大企業: 13社、研究機関: 3組織(独立行政法人)

■平成19年度(5回)

	種類	日程	参加企業数	会場	参加大企業
1	プレ交流会	平成19年5月18日(金)	12社(市内企業の研究会会員)	産業振興会館	富士通
2	プレ交流会	平成19年5月30日(水)	19社(マイコンシティ立地企業)	マイコンシティ	東芝
3	交流会	平成19年7月11日(水) ~7月12日(木)	37社(市内中小企業等)	KSP(テクノトランスファー)	東芝・富士通・NEC
4	ミニ交流会	平成19年10月23日(火)	8社(市内中小企業等)	富士通 川崎工場	富士通
5	ミニ交流会	平成19年12月20日(木)	10社 (異業種交流会会員)	KBIC	富士通

■平成20年度(5回)

	種類	日程	参加企業数	会場	参加大企業
1	ミニ交流会	平成20年6月10日(火)	1社(市内中小企業と富士通の技術交流)	市内中小企業事業所	富士通
2	交流会	平成20年7月10日(木)	24社	KSP	富士通・東芝・日立製作所・パイオニア
3	交流会 (NFT共催)	平成20年9月5日(金)	8社	川崎市産業振興会館	東芝
4	交流会 (二水会共催)	平成20年10月8日(水)	15社	富士通	富士通
5	交流会 (ライフサイエンスセミナー共催)	平成20年10月14日(月)	30社	味の素川崎工場	味の素

■平成21年度(4回)

	種類	日程	参加企業数	会場	参加大企業
1	交流会	平成21年7月10日(金)	35社	KSP	富士通・パイオニア・日立製作所・東芝
2	交流会 (KBIC共催)	平成21年10月30日(金)	17社	KBIC	パイオニア
3	交流会 (NFT共催)	平成21年11月9日(月)	12社	富士通	富士通
4	交流会 (二水会共催)	平成22年3月10日(水)	11社	東芝科学館 東芝研究開発センター	東芝

■平成22年度(4回)

	種類	日程	参加企業数	会場	参加大企業
1	交流会	平成22年7月9日(金)	50社	KSP	富士通・パイオニア・東芝・日産自動車
2	交流会	平成22年9月29日(水)	12社	富士通	富士通
3	交流会	平成23年1月26日(水)	5社	NEC	NEC
4	交流会 (二水会共催)	平成23年2月9日(水)	12社	日産自動車 横浜工場	日産自動車

■平成23年度(4回)

	種類	日程	参加企業数	会場	参加大企業
1	交流会	平成23年7月8日(金)	43社	KSP	富士通・東芝・NEC 日産自動車
2	交流会	平成23年11月8日(火)	12社	富士通	富士通
3	交流会	平成24年2月8日(水) ※知的財産シンポジウムと同時開催	67社 (165名)	産業振興会館	JAXA、JAMSTEC、 産総研
4	交流会	平成24年2月22日(水) ※横浜銀行と連携開催	37社 (46名)	産業振興会館	富士通

■平成24年度(4回)

	種類	日程	参加企業数	会場	参加大企業
1	交流会	平成24年7月13日(金)	44社 (53名)	KSP	富士通 NEC 日立製作所・ 日産自動車
2	交流会	平成24年9月28日(月) ※中原工場協会と連携開催	15社 (22名)	中原ウィザードセンター	富士通
3	交流会	平成24年12月9日(日) ※下野毛工業組合と連携開催	21社 (25名)	富士通	富士通 専修大
4	交流会	平成25年3月26日(火) ※高津工友会と連携開催	11社 (11名)	富士通	富士通

■平成25年度(5回)

	種類	日程	参加企業数	会場	参加大企業
1	交流会	平成25年6月17日(月) ※八千代銀行との連携開催	17社 (24名)	富士通	富士通
2	交流会	平成25年7月12日(金)	49社 (67名)	KSP	富士通 NEC 日立製作所・ 日産自動車
3	交流会	平成25年9月19日(木) ※神情協と連携開催	35社 (50名)	産業振興会館	富士通 NEC 日立製作所 日産自動車
4	交流会	平成25年10月9日(水) ※中原工場協会と連携開催	26社 (40名)	小杉精養軒	日産自動車
5	交流会	平成26年1月24日 ※川崎信用金庫と連携開催	28社 (35名)	富士通	富士通

3 これまでのマッチング成果(ライセンス契約成立)

17件 (※平成26年1月現在)

	大企業	市内中小企業	成約年月	ライセンス内容
1	富士通	光和電機	平成20年1月	拡大視認装置
2	富士通	イクスリサーチ	平成20年5月	出入力装置
3	富士通	末吉ネームプレート製作所	平成20年5月	光触媒チタンアパタイト含有塗料
4	富士通	スタックス	平成21年1月	電子機器の台足
5	富士通	タカネ電機	平成21年5月	雰囲気分析装置

6	富士通	JKB	平成 21 年 12 月	レーザスポット溶接装置
7	(非公表)	(非公表)	平成 22 年 4 月	(非公表)
8	富士通	ユニオン産業	平成 22 年 4 月	衝撃吸収型梱包材の削減方法
9	パイオニア	イクシスリサーチ	平成 22 年 5 月	カーナビ連動型ロボットの開発
10	富士通	アルファメディア	平成 23 年 4 月	出席管理スキャナ装置
11	富士通	ケンラックシステム	平成 24 年 1 月	制御ユニット
12	日本電気	森田テック	平成 24 年 4 月	電界／磁界プローブ
13	富士通	きらり	平成 24 年 7 月	金属修飾アパタイト材料及び製造方法
14	富士通	松本製作所	平成 24 年 11 月	芳香拡散技術
15	富士通	匠技術研究所	平成 25 年 2 月	出欠管理方法
16	富士通	フロンティアインターナショナル	平成 25 年 5 月	病原の感染防止方法
17	日産自動車	マイス	平成 25 年 12 月	小物部品の定数供給装置

問い合わせ先 経済労働局産業政策部企画課
(電話) 044-200-3714